

新聞・写真部

「読んでもらえる学校新聞を」

2年 榎森 良啓(鈴鹿市立神戸中学校)

全国高等学校総合文化祭の新聞部門に参加させていただきました。ほかの県の人と班を組んで、取材地をまわって新聞を作るということに、最初は上手く出来るか不安でした。役立たずだったらどうしよう、足を引っ張ったらどうしようと、そればかり考えていましたが、最終的には一つの新聞を作り上げることができて、とても安心しました。

今回参加してみて、ほかの県の新聞や新聞部について知ることができました。まず、部活動としての規模が自分たちの高校の新聞部と全く違いました。他県の高校の新聞部は数十人くらいが所属しているようでしたが、自分たちの高校の新聞部の活動人数は5人程度しかいません。これは今後の大きな課題と言えるでしょう。また、フルカラーで冊子のような新聞もあり、自分たちがつくっている新聞がいかにも他県の高校新聞に劣っていたか、痛感させられました。

今回学んだことを活かして、学校新聞をより生徒に読んでもらえるようなものにしていきたいと思います。



「交流会で学んだこと」

2年 房川 周平

(名張市立北中学校)

全国高等学校総合文化祭の新聞部門に初めて参加させていただきました。全国から来た新聞部員と新聞を作るとき、最初は学校によって記事の書き方などが違って戸惑いましたが、他の学校での作文の仕方なども学ぶことができて良かったです。今まで私は自分の学校の新聞しか参考にして新聞を作っていなかったのですが、初日に他の学校の新聞の見本をもらった時に、一つも似ている学校がなくて得るものが多くありました。総文祭の記事を作成するときも、同じ班のメンバーにアドバイスをもらい、新聞を完成させることができました。私の班は時間配分を少し間違えてしまったため、題名や見出しなどに時間をかけることはできませんでしたが、自分が担当した記事は他の学校の新聞部員にも手伝ってもらったため、今まで以上のものを作ることができたと思います。最終日の新聞講評でも、他の班の作った新聞を見ることができ、色々学ぶことができました。

これからも学んだことを活かして、誰にも読んでもらえるような学校新聞を目指して、頑張って記事を作っていきたいと思います。このような貴重な機会をいただき、ありがとうございます。